

エコアクション21 環境経営レポート

公共下水道清掃・TVカメラ調査・管内更生
超高圧ジェット洗浄
産業廃棄物中間処理場
河川浚渫（用排水路清掃）
給排水一般管工事



株式会社 田中商会

発行日：2022年 5月 30 日

運用期間；2021年4月1日～2022年3月31日

取組の対象組織・活動

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 田中商会
代表取締役 田中 久雄
- (2) 所在地
本 社 富山県富山市田中町二丁目5番1号
中間処理場 富山県富山市田中町二丁目5番1号
- (3) 資本金 1,000万円
- (4) 設立年月日 1975年 12月 20日
- (5) 環境管理責任者氏名及び連絡先
責任者 営業課長 中野 善博 TEL: 076-431-1122
FAX: 076-432-0362
- (6) 事業内容
産業廃棄物収集運搬・中間処理
下水管管内洗浄・管内TVカメラ調査 補修・止水工事
下水道管更生工事
プラント定修工事
超高圧ジェット洗浄

(7) 事業の規模

売上高	4.07億円 (2021年4月～2022年3月)	
	本社	中間処理場
従業員	25名	
延べ床面積	2,289.5m ²	1,650m ²

(8) 事業年度 4月～3月

(9) 組織図



(10) 処理実績

産業廃棄物 2021年4月～2022年3月		
収集運搬	汚泥	2,203 t
中間処理	汚泥	2,351 t

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 田中商会
 関連事業所: なし
 活動: 事業に係る業務全般

許可内容

◆産業廃棄物処分業許可（富山市）【優良】

許可番号	08522016923		
許可年月日	2020年12月3日	許可の有効期限	2027年12月2日
事業の区分	中間処理（脱水・活性汚泥処理・コンクリート固化・選別）		
産業廃棄物の種類	汚泥（特別管理産業廃棄物であるものを除く）		
施設の種類	設置場所	設置年月日	処理能力
脱水施設	富山市田中町二丁目5-1	1990年8月20日	8m ³ /日
活性汚泥処理施設	富山市田中町二丁目5-1	1990年8月20日	40m ³ /日
コンクリート固化	富山市田中町二丁目5-1	1994年8月25日	60m ³ /日
選別施設	富山市田中町二丁目5-1	1999年1月14日	40m ³ /日

◆産業廃棄物収集運搬業許可（富山県）【優良】

許可番号	01602016923		
許可年月日	2020年12月3日	許可の有効期限	2027年12月2日
収集運搬 （積替え・保管を除く）	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、繊維くず、 ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず （これらのうち自動車等破砕物であるものを除き、特別管理産業廃棄物であるものを除く）		

◆産業廃棄物収集運搬業許可（石川県）

許可番号	01702016923		
許可年月日	2017年7月3日	許可の有効期限	2022年7月2日
収集運搬 （積替え・保管を除く）	汚泥 （判定基準に適合しないもの、特別管理産業廃棄物であるもの及び石綿含有産業廃棄物であるものを除く）		

◆産業廃棄物収集運搬業許可（新潟県）

許可番号	01509016923		
許可年月日	2022年1月19日	許可の有効期限	2028年12月8日
収集運搬 (積替え・保管を除く)	汚泥		

◆産業廃棄物収集運搬業許可（岐阜県）

許可番号	02100016923		
許可年月日	2019年3月29日	許可の有効期限	2024年3月28日
収集運搬 (積替え・保管を除く)	汚泥 (上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く)		

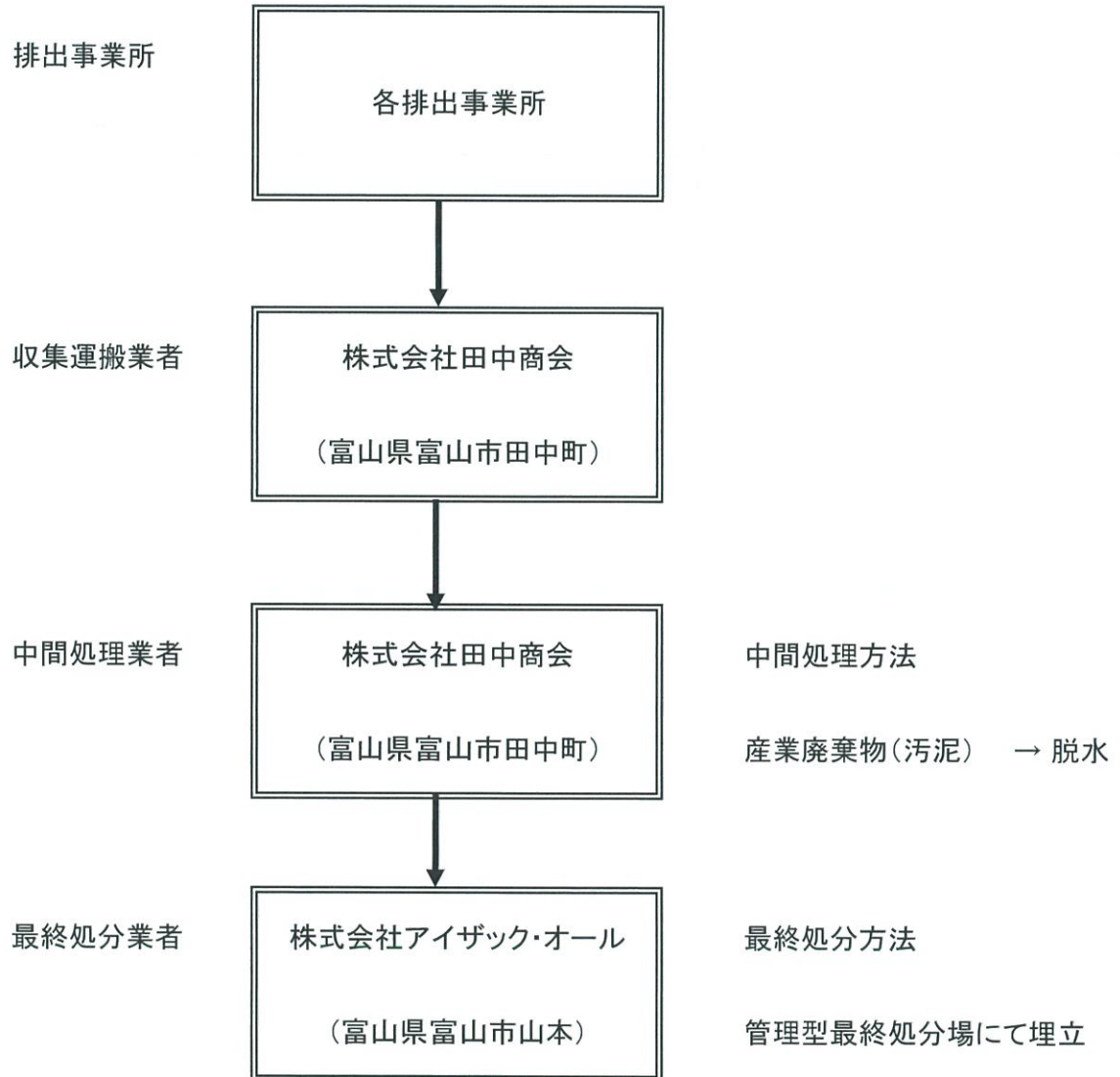
◆産業廃棄物収集運搬業許可（福井県）

許可番号	01801016923		
許可年月日	2019年3月24日	許可の有効期限	2024年3月23日
収集運搬 (積替え・保管を除く)	汚泥 (これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)		

産業廃棄物収集運搬許可車両一覧

	自動車登録番号	最大積載量(kg)	車体形状	富山県	石川県	岐阜県	福井県	新潟県
1	富山830 さ 2022	7, 110kg	清掃車	○	○	○	○	○
2	富山800 は 75	7, 100kg	清掃車	○	○	○	○	○
3	富山800 は 1188	7, 700kg	清掃車	○	○	○	○	○
4	富山800 は 1273	8, 200kg	清掃車	○	○	○	○	○
5	富山800 は 1274	8, 200kg	清掃車	○	○	○	○	○
6	富山830 そ 2020	7, 140kg	清掃車	○	○	○	○	○
7	富山800 す 1189	2, 510kg	清掃車	○	○	○	○	○
8	富山800 す 1195	2, 510kg	清掃車	○	○	○	○	○
9	富山11 た 3680	9, 000kg	ダンプ	○	○	○	○	○
10	富山11 み 625	3, 850kg	ダンプ	○	○	○	○	○
11	富山430 つ 2021	1, 250kg	キャブオーバ	○	○	○	○	○
12	富山400 て 6405	1, 000kg	キャブオーバ	○	○	○	○	○
13	富山400 て 6451	1, 000kg	キャブオーバ	○	○	○	○	○
14	富山400 そ 9117	1, 000kg	キャブオーバ	○	○	○	○	○

産業廃棄物処理フロー



株式会社田中商会 環境経営方針

＜基本理念＞

株式会社田中商会は地球環境を守り、地域と調和した企業を目指します。
また、日々努力と研鑽を重ね、豊かな社会とよりよい環境の実現に取り組みます。

＜行動指針＞

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②使用原材料の省資源、廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③水資源の節水
- ④環境に配慮した工法の提案推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

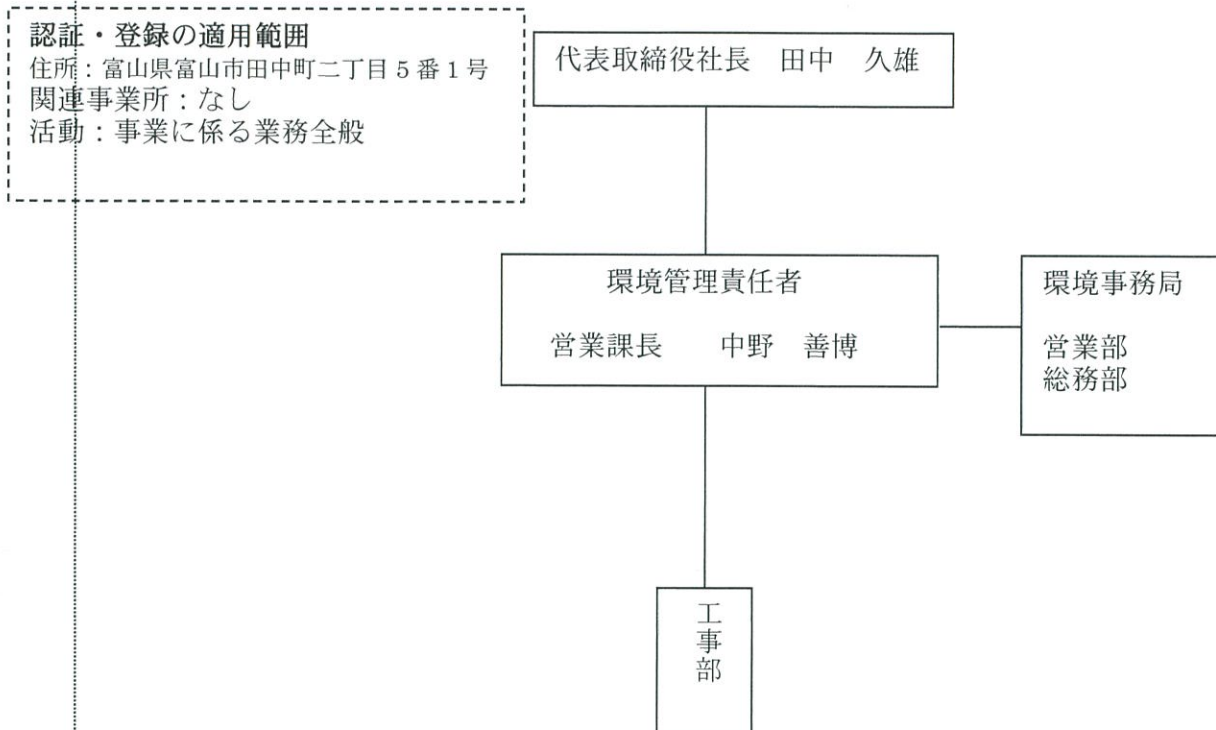
3. 環境経営方針は全従業員に周知します。

制定日：2014年1月10日
改定日：2020年3月29日

代表取締役

田中久雄

株式会社 田中商会 環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
統括責任者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間能技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境活動実施計画書を承認 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・問題点の発見、是正、予防処置・ ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局 [営業部,総務部]	・環境管理責任者、E A 2 1 推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境活動実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・文書および記録の保管、管理 ・緊急事態訓練の実施及び記録 ・営業会議の推進、実施
全従業員	・環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・EA21 について決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営中長期目標

改訂日:2021年 11月 11日

[半年見直しをし、2021年度の目標値を見直した。]

環境方針	環境目標項目	基準値 (基準年度)	実績	年度毎目標			
			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
排出量の削減 二酸化炭素	電力の使用量削減 ※CO2排出係数＝ 0.526kg-CO2/kWh	95,755kg-CO2 2015年 175,376kWh	+12%	0%	△1%	△2%	△2%
			183,816kWh	175,376kWh	173,622kWh	171,868kWh	171,868kWh
	車両燃料使用量の削減	259,755kg-CO2 2012年 101,400L	+5%	△1%	△2%	△3%	△3%
			100,839L	100,386L	99,372L	98,358L	98,358L
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	1.04トン 2012年	△23%	△12%	△12%	△12%	△12%
			0.800トン	0.915トン	0.915トン	0.915トン	0.915トン
	産業廃棄物の削減	3.401トン 2014年	+224%	△0%	△1%	△1%	△1%
			10.5トン	3.40トン	3.36トン	3.36トン	3.36トン
水の削減 水使用量	節水	4,755m ³ 2016年	+48%	△1%	△1%	△2%	△2%
			6,900m ³	4,707m ³	4,707m ³	4,659m ³	4,659m ³
環境配慮工法の提案	環境配慮工法の提案	3件 2016年	+0件	+2件	+2件	+2件	+2件
			5件	5件	5件	5件	5件

※化学物質(PRTR物質)の使用はありません。

環境経営中長期目標

改訂日：2022年 4月 25日

[半年見直しをし、基準値(基準年度)の変更を行い、
2022年度以降の目標値を見直した。]

環境方針	環境目標項目	基準値 (基準年度)	実績	年度毎目標		
			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
排出量の削減 二酸化炭素	電力の使用量削減 ※CO2排出係数＝ 0.498kg-CO2/kWh	91,540kg-CO2 2020年 183,816kWh	+5%	△1%	△1%	△2%
			193,872kWh	181,978kWh	181,978kWh	180,140kWh
	車両燃料使用量の削減	50,217kg-CO2 2020年 100,839L	+3%	△1%	△1%	△2%
			104,160L	99,831L	99,831L	98,822L
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	0.737トン 2020年	+8%	△1%	△2%	△3%
			0.800トン	0.730トン	0.722トン	0.715トン
	産業廃棄物の削減	10.5トン 2020年	+51%	△1%	△1%	△1%
			15.9トン	10.4トン	10.4トン	10.4トン
水使用量の削減	節水	6,900m ³ 2020年	△12%	△1%	△2%	△3%
			6,116m ³	6,831m ³	6,762m ³	6,693m ³
環境配慮工法の提案	環境配慮工法の提案	5件 2020年	+0件	+0件	+1件	+2件
			5件	5件	6件	7件

※化学物質(PRTR物質)の使用はありません。

※CO2排出係数＝0.498kg-CO2/kwh(北陸電力,2020年度)

環境経営計画

		環境活動対象	具体的取組内容
排出量の削減 二酸化炭素	電力の二酸化炭素 排出量削減	不要照明の消灯	休憩時、不在時の消灯
		空調機器の温度の適正化及び清掃	フィルター清掃、控え目使用、定期点検
		OA機器の電源の管理	未使用時電源を消す
		LEDの照明に随時切替	LEDの照明に随時切替
	排出量の削減 二酸化炭素 削減	エコドライブの実施	急発進、急加速の禁止、駐停車時のエンジン停止
			荷台に無駄な物を積まない
			法定速度を守る（チェックする）
			走行キロ数・燃料消費量の記録をとる
水使用量の削減	節水	節水運動	洗濯機使用時、 すすぎの水を出しっぱなしにしない
			バルブの締め忘れに注意する
			漏水防止の為、毎月のメーターの確認
			地下水の節約
産業廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	裏紙の使用	原則印刷時の設定にする
		ミスコピーの防止	印刷プレビューの活用
		ゴミの分別の徹底	ペットボトル等資源ゴミの分別の徹底
	産業廃棄物の削減	分別の徹底	鉄、古タイヤ、アルミ等分別し、リサイクルまたは売却する
工法の提案 環境配慮	工法の提案 環境配慮	環境配慮工法の提案	超高压洗浄の推進

※超高压洗浄とは・・・

他工法に比べ、低振動・低騒音で粉塵も発生しにくく、廃液を回収しながら作業を行う為、環境に配慮している工法です。

環境目標の実績

環境方針	環境目標項目	基準年度	2021年度 目標と実績			
			目標	実績	評価	コメント
二酸化炭素総排出量		355,137kg-CO2		362,227kg-CO2		
排出量の削減 二酸化炭素	電力の二酸化炭素排出量削減	175,376kWh 2015年	△1%	+12%	×	工場側での電力使用が中々削減できないのが実情。基本的な取り組みを強化していく。
			173,622kWh	193,872kWh 96,548.26kg-CO2		
	車両燃料の二酸化炭素排出量削減	101,400L 2012年	△1%	+4%	△	長距離走行する現場が多い影響があるが、月ごとの目標をクリアすることも何度かあった。
			100,386L	104,160L 265,769.16kg-CO2		
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	1.04トン 2012年	△11%	△20%	○	大幅な削減を達成できてよかった。今後も取り組みを続けていく。
			0.926トン	0.734トン		
	産業廃棄物の削減	3.401トン 2014年	△5%	+491%	×	2021年度夏季から工場の内外壁面塗装の更新を進めることとなり、当初の排出量計画を大きくオーバーする結果となった。
			3.231トン	15.87トン		
水使用量の削減	節水	4,755m³ 2016年	△2%	+31%	×	コンクリート土間更新の散水養生や、冬季の融雪放水等大量使用が結果に響いた。
			4,659m³	6,116m³		
環境配慮工法の提案	環境配慮工法の提案	3件 2016年	+2件	+0件	○	今後も積極的な提案を心掛けていく。
			5件	5件		

※化学物質(PRTR物質)の使用はありません。

※CO₂排出係数・・・0.498kg-CO₂/kWh

評価基準・・・累計達成率

*95%未満・・・×

*95%～99%・・・△

*100%以上・・・○

(北陸電力、2020年度)

二酸化炭素総排出量:367,263kg-CO₂

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

	環境活動対象	具体的取組内容	評価	結果	次年度の取組内容
二酸化炭素 排出量の削減	電力の二酸化炭素 排出量の削減	不要照明の消灯	休憩時消灯	△	工場内の消費電力が大きいため、工場で作業する従業員には不要な照明、エアコンをこまめに切るよう、注意喚起していきます。
		空調機器の温度の適正化及び清掃	フィルター清掃、控え目使用	○	
		OA機器の電源の管理	未使用時電源を消す	○	
		LEDの照明に随時切替	LEDの照明に随時切替	○	
		エコドライブの実施	急発進、急加速の禁止 駐停車時のエンジン停止 法定速度を守る（チェックする）	○	
水使用量の削減	節水	車両の日常点検の徹底	走行キロ数・燃料消費量の記録をとる タイヤ空気圧適正保持	○	タコグラフ管理により、法定速度超過、アイドリングがないかチェックし、指導を行っていきます。
		節水運動	洗濯機使用時、すすぎの水を出しっぱなしにしない（工場用洗濯機） 水を出し過ぎない	○	
		裏紙の使用	原則印刷時の設定にする	○	
産業廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	ミスコピーの防止	印刷プレビューの活用	○	ミスコピーについては、印刷時に再度内容チェックを心掛けるよう、注意喚起していきます。
		ゴミの分別の徹底	ペットボトル等資源ゴミの分別の徹底	○	
		分別の徹底	鉄、古タイヤ、アルミ等分別し、リサイクルまたは売却する	○	
環境配慮工法の提案	環境配慮工法の提案	環境配慮工法の提案	超高圧洗浄の推進	○	今後も継続して取り組めます。

**環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに
違反、訴訟等の有無**

環境関連法規への違反はありません。

関係当局より違反の指摘はこれまでありません。

				遵守評価	
法律等の名称	当社に適用される要求事項	当社の対応 自主基準	罰則規定	証拠となる 記録等	適否 要○印
廃棄物 処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	(産業廃棄物の委託基準) ・知事の許可を受けた収集運搬業者又は処理業者の夫々と契約 ・委託契約は書面で ・委託処理内容など必要事項記載 ・収集運搬業又は処理業の許可証添付	・委託基準の遵守 (期限内の許可証添付)	3年以下の懲役若しくは300万円以下の罰金又はこの併科	委託契約書 許可証写し	(適)否
	(産業廃棄物管理票) ・全ての産業廃棄物に産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付	・総務部が記載	6か月以下の懲役又は50万円以下の罰金	産業廃棄物管理票(マニフェスト)	(適)否
	・産業廃棄物管理票(マニフェスト)B2票、D票、E票を5年保存	・A票と併せてファイルに保管	6か月以下の懲役又は50万円以下の罰金		(適)否
	(産業廃棄物管理票交付等状況報告) ・前年度の交付状況を報告 ・中間処理業者の交付する2次マニフェストも報告 ・県内で排出したものに限る	・毎年4月1日～6月30日の間に提出	措置命令	交付等状況報告書	(適)否
	(産業廃棄物処理施設の定期検査) ・処理施設について、5年3ヶ月以内ごとに、法第15条の2第1項第1号に規定する技術上の基準に適合しているかどうか検査	・PH計・放流水分析を毎月民間業者に委託	許可の取り消し	検査記録	(適)否
	(技術管理者) ・環境省令で定める基準を有する者を設置	・産業廃棄物中間処理施設技術管理士 2名設置	30万円以下の罰金	終了認定証	(適)否
道路交通法	(道路の使用の許可) ・次のいずれかに該当するときは、所轄警察署長の許可を受けなければならない。 ①道路において工事又は作業を行おうとする者又は工事・作業の請負人 ②道路に石碑、銅像、広告塔、アーチ等の工作物を設けようとする者 ③道路に露店、屋台店等を出そうとする者 ④公安委員会が定めたものをしようとする者		3か月以下の懲役又は5万円以下の罰金		(適)否
道路運送車両法	(日常点検整備) 自動車の使用者は、適切な時期に、日常的に点検すべき事項について、自動車を点検しなければならない		3か月以下の懲役または5万円以下の罰金	車両点検簿	(適)否
富山市 下水道条例	(特定事業場からの下水の排除の制限) 特定事業場から下水を排除して公共下水道を使用する者は、法第12条の2第3項及び第5項の規定により、次に定める基準に適合しない水質の下水を (3) 生物化学的酸素要求量 1リットルにつき5日間に600ミリグラム未満 (※) (4) 浮遊物質量 1リットルにつき600ミリグラム未満 (除害施設の設置等) 法第12条の11第1項の規定により、次に定める基準に適合しない水質の下水を継続して排除して公共下水道を使用する者は、除害施設を設け、又は (5) 生物化学的酸素要求量 1リットルにつき5日間に600ミリグラム未満 (※) (6) 浮遊物質量 1リットルにつき600ミリグラム未満 (※) 日平均120mg/ℓ	・法令遵守 (毎月毎の水質調査を外部委託)	5万円以下の罰金	水処理状況報告書	(適)否

8.【代表者による全体の評価見直し】

代表者による評価・見直しの記録				検 印	検 印	作 成
見直し実施者	代表取締役社長 田中 久雄			田中 久	中野	深田
見直し実施日	2022/7/1					
確 認 ・ 評 価 し た 資 料						
文 書	確 認	記 録			確 認	
環境方針	✓	環境への負荷の自己チェック			✓	
環境目標	✓	環境への取組の自己チェック			✓	
環境活動計画	✓	環境関連法規制等の順守状況確認			✓	
環境関連法規等のまとめ	✓	外部からの苦情・情報の記録			✓	
実施体制	✓	環境上の緊急事態の訓練記録			✓	
緊急事態対応手順	✓	環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況と結果			✓	
取組に必要な手順書の見直し	✓	不適合是正・予防処置報告書			✓	
環境経営レポート	✓					
取組状況全体の評価						
システムが有効に運用されているか(要求事項を満足しているか)					適	不適
取組が適切に行われているか					適	不適
EA21審査時の指導・推奨事項に対する対応がされているか					適	不適
見直しの必要性						
環境方針	あり	なし	実施体制	あり	なし	
環境目標	あり	なし	その他	あり	なし	
環境活動計画	あり	なし				
【見直し具体的内容】						
・ 建屋、器材、作業車を長く使用できるようにチェックし、修理、塗装して使用する ・ 外注作業をできるだけ少なくして、自社で修理、他 作業する ・ 比較的無駄な車両は廃車にする ・ 各現場作業の効率を、早出、残業、休日出勤も含めて再度チェックする ・ 目標未達の是正処置として、すべての中期目標の基準年度を見直して、新たな中期計画を立案すること						